

水産試験場公開デーを開催します

－見て、触れて、楽しんで、水産業を学ぼう！－

企画情報部 企画普及グループ

試験研究の成果等を紹介し、水産業への関心を高めていただくため、水産試験場公開デーを開催します。今年度はハロウィンをイメージした企画を用意しました。ぜひ、ご来場ください！（入場無料）

1 日時：令和7年10月25日（土曜日）午前10時から午後4時まで

2 場所：愛知県水産試験場（蒲郡市三谷町若宮97）

3 主な内容

（1）試験研究の紹介、研究施設等の見学

- ・水産試験場の試験研究成果の紹介、研究施設見学、観測機器の展示、愛知県の水産業を紹介するビデオ上映

（2）参加・体験型企画

- ・トリック オア トアーミ（投網体験）！
- ・集え！干潟バスターズ（潮干狩り体験）
- ・まるで魔女のマント！？（海苔すき体験）
- ・金魚の模擬セリ市体験（人数限定）

（3）展示、観察

- ・小さな水族館、海のいきものタッチプール
- ・深海魚はく製水族館、魚の耳石の展示

（4）お楽しみコーナー

- ・ゲームで有害プランクトンを退散！
- ・タッチしよう！ウナギサイズ当てクイズ
- ・狙って学ぶサーモン射的！
- ・魔法の釣り竿を振りかざせ！あいちのお魚カード釣り
- ・Trick or Treat！金魚を連れて帰ろう（金魚すくい（小学生以下））

（5）漁業団体によるPRと即売

- ・シラスをゲット！ビリビリ棒ゲーム
- ・「愛知のり」、「ウナギ加工品」、「絹姫サーモン加工品」等の販売

※内容は変更することがあります。



図1 海苔すき体験



図2 金魚すくい

新しい種苗放流マニュアルをご活用ください

漁業生産研究所 栽培漁業グループ

当グループでは、効果的な種苗放流を進めるため、令和7年8月に「種苗放流マニュアル」を改訂しました。

今回の改訂では、新たに栽培漁業センターでの生産が始まるハマグリとミルクイについて、放流に適した場所や方法などの具体的な情報を、写真を使って分かりやすく解説しています。

また、令和2年度に発行した初版の内容も引き継ぎ、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミ、トラフグ、クロアワビ、マナマコ、そして豊川河口からの移植放流が行われているアサリについても、種苗放流時の注意点や放流方法を解説しています。

ハマグリやミルクイなどの新たな魚種を含めて、各漁場に適した放流が進み、資源の維持・増大につながるよう、種苗放流に携わる漁業者の皆様におかれましては、本マニュアルを積極的にご活用ください。

改訂版の「種苗放流マニュアル」は、下の二次元バーコードや、愛知県水産試験場ホームページ内の漁業生産研究所栽培漁業グループのページ

（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/suisanshiken/syubyouhouryu-manyuaru.html>）

からダウンロードすることができます。



図3 放流マニュアル表紙



放流マニュアル
（二次元バーコード）

【種苗放流マニュアルより】※部分的な抜粋

ハマグリ

＜放流場所＞

- ・粒径のそろった泥分の少ない砂地。
- ・河川水の影響を受けやすい場所でも良い。

＜放流方法＞

- ・サイホンを使って海水とともに放流する。
- ・ハマグリが砂に潜る前に干上がる状況での放流は避ける。



サイホンを利用した放流

ミルクイ

＜放流場所＞

- ・泥分が少ない、砂と砂利が混ざった場所。

＜放流方法＞

- ・1か所に多量の種苗を放流することは避ける。
- ・船の上から、ばらまいて放流しない。



ジョウゴを利用した放流

